

## 北海道・東北支部のうごき

平成20年度全国環境研協議会北海道・東北支部総会を5月29日(木)、30日(金)に新潟市で開催した。

第1日目は、「万代シルバーホテル」を会場として、13機関、27名の出席者を得て議事、報告事項等について協議が行われた。

総会は、支部長の福島県環境センター井澤所長、開催地の新潟県保健環境科学研究所高橋所長のあいさつの後、高橋所長が議長となり議事を進めた。

### 1. 事業報告等

#### (1) 平成19年度事業報告及び収支決算報告について

事務局(支部長県：福島県)から報告を行い、いずれも原案のとおり承認された。

報告された主な事業は、環境測定分析統一精度管理ブロック会議、支部環境研究連絡会議、支部酸性雨調査研究専門部会の各事業である。

#### (2) 平成20年度事業計画及び収支予算案について

事務局より平成20年度事業計画および収支予算案について説明し、いずれも原案のとおり承認された。

#### (3) 報告事項について

支部長から、平成20年4月25日(金)に開催された全国環境研協議会平成20年度第1回理事会の主な内容として、企画部会、酸性雨調査研究部会、環境生物部会、精度管理部会等の平成19年度事業報告および平成20年度事業計画等について報告した。

### 2. 提案・情報交換事項

あらかじめ、当支部の各機関から提出された7つの提案・情報交換事項について、活発な討議を行った。

①アスベストの分析法について(青森県、いわ

き市提出)

②アジア諸国との交流について(岩手県提出)

③ダイオキシン類等、微量化学物質の検査施設について(宮城県提出)

④ダイオキシン類の分析について(山形県提出)

⑤研究連絡会議における共通課題検討会のテーマの決定方法について(秋田県提出)

⑥航空機騒音の環境基準改正に係る今後の対応について(福島県、新潟県提出)

⑦水生生物の保全に係る水質環境基準の類型指定について(新潟県提出)

### 3. その他

総会に引き続き支部表彰式が行われ、長年にわたり公害防止、環境保全の調査研究に功績のあった次の7氏に表彰状及び記念品が授与された。

受賞者を代表して、宮城県保健環境センターの浦山氏が謝辞を述べ、その後受賞者全員の記念撮影を行った。

北海道環境科学センター	高田 雅之 氏
岩手県環境保健研究センター	安部 隆司 氏
宮城県保健環境センター	浦山 清 氏
秋田県健康環境センター	佐藤 信也 氏
山形県環境科学センター	小松 秀一 氏
新潟県保健環境科学研究所	向井 博之 氏
いわき市環境監視センター	坂本 安由 氏

第2日目は、新潟市にある財団法人日本環境衛生センター 酸性雨研究センターを視察し、①酸性雨、②オゾン汚染、③東アジア酸性雨モニタリングネットワークと酸性雨研究センターの連携など同センターが取り組んでいる調査研究等について、有意義な情報を収集することができた。

最後に、支部各会員の皆様の御協力により今年度の支部総会を無事に終了することができましたことを厚く御礼申し上げますとともに、今年度の支部事業の円滑な実施に御協力をお願いします。